

福祉サービス第三者評価結果報告書【平成31年度(2019年度)】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 330-0072

所在地 埼玉県さいたま市浦和区領家2-13-9-103

評価機関名 株式会社シーサポート

認証評価機関番号

機構 13 - 223

電話番号 048-711-1020

代表者氏名 代表取締役 白井豊



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	白井豊	経営	H0405018
	②	石崎志津子	福祉	H1601062
	③	渡部千代子	福祉	H1301043
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	アウル宮前保育園			
事業所連絡先	〒	168-0081		
	所在地	東京都杉並区宮前2丁目11番11号		
	TEL	03-5941-5112		
事業所代表者氏名	青木るみ子			
契約日	2019年 8月 5日			
利用者調査票配付日(実施日)	2019年 9月 3日			
利用者調査結果報告日	2019年 12月 22日			
自己評価の調査票配付日	2019年 9月 3日			
自己評価結果報告日	2019年 12月 22日			
訪問調査日	2020年 1月 10日			
評価合議日	2020年 1月 19日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査において専用の回収ボックスを設置するなどプライバシーに配慮した。			

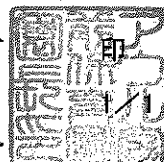
評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- ① 機構が定める部分を公表することに同意します。
- ② 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- ③ 別添の理由書により、公表には同意しません。

2020年 / 月 日

事業者代表者氏名

社会福祉法人天寿園会  
アウル宮前保育園  
園長 青木るみ子





No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	優れた先進性、柔軟性、補完性が多様な施策を実現しています
	内容	今年度より保育ICTシステムを導入し、迅速に保護者へのアンケートを実施できる仕組みを構築するなど保護者の意向の確認に役立てられています。また業務の効率化・情報集約の向上に対しても効果を確認しており、職員の負担軽減につなげています。本事項に限らず園と管理者が従来より持ち合わせている「良いものを取り入れていく先進性、周囲の意見を聞く柔軟性、全体をフォローする補完性」が抜きん出ていることが短期間での定着と実効を可能としています。
2	タイトル	近隣園との合同での活動など社会資源を活用した取り組みがなされています
	内容	小学校・中学校・公園など社会資源があつまる恵まれた環境を活かし交流と親睦が図られていますが、新たに近隣の保育園との交流会が始められており、合同の活動などがなされています。職員交流会についても予定されており、他園の運営や工夫をみることでモチベーションを高めていくことを狙いととしています。
3	タイトル	自立と自律を心がけ、子どもたち自身で考える保育を推進しています
	内容	子どもたち自身が考え、友だちや遊びに関心を持つことを尊ぶ保育を実践しており、就学を控えた年長児に対しては特に自立と自律を意識した取り組みがなされています。子どもたちだけで会議をし、集団の中で表現することや周囲を思う気持ちを育む環境を提供しています。開設から園全体を牽引してきた子どもたちを温かく送り出せるよう準備が進められています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	縦割り保育に対して細かな計画と検証の導入を予定しています
	内容	保育室はクラスごとに壁で仕切られている部分と空間を共有している部分とが共存した工夫した造りとなっており、クラスに閉じこもらない保育を実践している。毎週金曜日は縦割り保育を実施しており、異年齢に対する優しさやいたわりを培い、生活する中で人間関係を構築できる保育を目指しています。単なる合同保育ではなく、グループとしての成長を主眼として行っており、今後は細かな計画と検証を導入していく意向もっています。
2	タイトル	各種研修への参加、職員の負担配分の考慮などを改善目標としています
	内容	年度の職員研修計画が立てられており、研修内容・参加職員等が月別に示されています。今後は更なる各種外部研修への参加、リーダー層の負担軽減、アンガーマネジメントや権利擁護研修の実施など来年度以降の課題についても認識がなされており、改善への検討と実効を目標としています。
3	タイトル	ICTシステムに呼応した規定の整備を進める意向もっています
	内容	本年より保育ICTシステムの導入が図られており、業務の効率化とデータの保管・整理に対して進化が図られています。実務上の進化に呼応したICTシステムにおける記録・パスワードの管理等に対する規定の明確化やマニュアル整備を今後の課題として挙げています。



事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル①	綿密な工夫と改善をもって行事に取り組んでいます	
内容①	年間行事計画および行事計画書が立案されており、スケジュール、工程など綿密な計画をたて、目的を明確にし目標をもって取り組むことが心がけられています。生活発表会は、日々の保育内容や成長の成果を保護者に理解してもらえる内容となっており、年齢毎に2回に分けて開催するなど工夫を加えながら改善にあたっています。行事後にはICTシステムを活用したアンケートを実施しており、保護者の反響や意見に耳を傾けながら次年度につなげるよう取り組んでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している
タイトル②	情報発信・広報に対して改訂が重ねられています	
内容②	法人のインターネットサイトのリニューアルがなされており、併せて本園のページについても改訂がなされています。情報量の増加と見やすさについて変更がなされており、申請書類等の掲載については更に拡充を図る意向をもっています。また入園のしおりについても改定が重ねられており、利用希望者が抱く疑問や質問に対して網羅した内容となっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	1-1-2	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている
タイトル③	職員層の連結により風通しの良い風土を作りだしています	
内容③	非常勤職員の拡充がなされており、より一層の情報伝達・理念の理解に努めています。また伝達だけでなく、職員からの意見聴取にも努めており、職員面談を中心に意見を言いやすい環境をつくるよう取り組んでいます。特に職員層による連結・連携に注力がなされており、風通しの良い風土の醸成に取り組んでいます。	



I 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No.	共通評価項目	
カテゴリー1		
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリー1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>7/7</b>
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
カテゴリー1の講評		
<p>職員層による連結に注力がなされており風通しの良い環境形成に取り組んでいる</p> <p>非常勤職員の拡充がなされており、より一層の情報伝達・理念の理解に努めている。また伝達だけでなく、職員からの意見聴取にも努めており、職員面談を中心に意見を言いやすい環境をつくるよう取り組んでいる。特に職員層による連結・連携に注力がなされており、風通しの良い風土の醸成に取り組んでいる。</p> <p>相手を尊重した保育と運営の継続により本保育園独自の風土や文化が形成されている</p> <p>アウル宮前保育園職務分担表と題し、年度ごとに園長以下の職務について記名式にて明確化されている。地域性や保護者の特性に鑑みながら運営が進められており、職員・保護者の双方に対して丁寧かつ相手に合わせた対応が心掛けられている。相手を尊重した保育と運営の継続により本保育園独自の風土や文化が形成されている。</p> <p>ホームページのリニューアルが行われており、見やすさ・情報量が進化している</p> <p>事業計画には経営方針・保育理念・保育目標等が記されており、職員に対して法人・園の考えを伝えている。また入園のしおりには、教育・保育理念、教育・保育目標、基本方針、主な取り組みが紹介されており、保護者・地域に向けて情報を発信している。ホームページのリニューアルが行われており、見やすさ・情報量が進化している。</p>		

2		カテゴリー2	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
サブカテゴリー1(2-1)			
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		○非該当
サブカテゴリー2(2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当
カテゴリー2の講評			
<p>各種計画により活動と体制の明示がなされている</p> <p>平成29年度より3年度に渡る中期計画が策定されており、組織の醸成・設備の整備、人事労務および経営基盤の確立等が示されている。年度の事業計画のほか保健計画・全体的な計画・年齢ごとの年間指導計画等々において、保育活動、安全管理体制、職員研修、行事予定などが記載され園の活動を明示している。</p> <p>保育ICTシステムの活用により保護者の意向把握に努めている</p> <p>送迎時等でのコミュニケーションや連絡帳を中心に保護者からの意見聴取に努めている。役員会により保護者の意見が集約されており、保護者から直接要望や意見を聞ける貴重な場として機能している。今年度より保育ICTシステムを導入し、簡単に保護者へのアンケートを実施できる仕組みが構築されている。保護者の回答のしやすさに配慮しながら意向の聴取に努めている。</p> <p>近隣保育園との交流会が始められている</p> <p>区内園長会、地域懇談会、病後児保育連絡会等関係機関の会合への出席を通して地域ニーズや動向の把握に取り組んでいる。小学校・中学校・公園など社会資源があつまる恵まれた環境を活かし、交流と親睦が図られている。また近隣の保育園との交流会が始められており、屋上での活動などがなされている。職員交流会についても予定されており、他園の運営や工夫をみることでモチベーションを高めていくことを狙いとしている。</p>			



3			カテゴリ-3	
経営における社会的責任				
サブカテゴリ-1(3-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価		標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している		○非該当	
サブカテゴリ-2(3-2)				
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)	
評価		標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当	
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)	
評価		標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常的言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当	
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当	
サブカテゴリ-3(3-3)				
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価		標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当	
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当	

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>子どもの気持ちを大事にした保育がなされるよう園全体で取り組んでいる</p> <p>年に2回の権利擁護に関するチェックの実施がなされており、子どもの気持ちを大事にした保育がなされるよう園全体で取り組んでいる。職員が感情的に接してしまうことに対しては特に留意するよう指導にあたっており、今後もアンガーマネジメント研修への参加等を検討している。また外部講師を招いての権利擁護に対して研鑽を図る機会についても実施を思案している。</p> <p>保育に従事する者としての意識向上に日々取り組んでいる</p> <p>職務についての自己評価を実施しており、自身の業務を振り返るためのツールを整備している。また倫理規程が定められており、子どもの安全と健康を守るものとして児童福祉に資する姿勢が示されている。保育に従事する者として自身が持つ専門性の発揮、日常からの体調管理、自己啓発の姿勢などの意識を高められるよう日々の指導にあっている。</p> <p>地域との協調や果たすべき役割について定着が図られている</p> <p>個人情報保護、事故防止等が定められたボランティア受け入れ規程が設置されており、絵本の読み聞かせボランティア来訪など協力を受けている。隣接する中学校の就労体験への協力、保育士・栄養士の実習生の受け入れ、地域懇談会への参加、学校110番への協力など開設3年目を迎える中、地域との協調や果たすべき役割について定着が図られている。</p>		
カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
BCPの設置など各種災害への対策が講じられている 火災・地震・不審者などの想定のもと避難訓練が毎月行われている。また防犯カメラ・各種ロック・安全管理マニュアルの設置等セキュリティ設備が完備しており、子どもを安心して預けるための環境が整えられている。ヒヤリハット報告書への職員の意識付け・インフルエンザ流行時の玄関での引き取りなど種々の安全対策が講じられている。BCP:被災時事業継続計画の設置もなされている。		
個人情報保護、開示請求等について規定がなされている 重要事項説明書には、個人情報の守秘、徹底管理、必要時の協力を謳い、説明にあたっており、入園時には個人情報の利用目的について同意を得ている。またプライバシーポリシーと題し、個人情報の取得・利用・第三者提供・開示請求について定め、公表がなされている。ボランティア受け入れ規程にも受け入れ時の注意事項が定められている。個人情報の取り扱いについて明確にし、適切な対応と園児および家庭の情報が保護されるよう体制の整備がなされている。		
ICTの導入がにより、業務の効率化とデータの保管・整理に対して進化が図られている 子ども・家庭に関する紙媒体の重要書類についてはファイリングし、鍵付きのキャビネットにて保管がなされている。また本年より保育ICTシステムの導入が図られており、業務の効率化とデータの保管・整理に対して進化が図られている。実務上の進化に呼応したICTシステムにおける記録・パスワードの管理等に対する規定の明確化やマニュアル整備を今後の課題として挙げている。		
カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

<b>評価項目3</b> 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目4</b> 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリ-2(5-2)</b>		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>3/3</b>
<b>評価項目1</b> 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>カテゴリ-5の講評</b>		
<p><b>職員の働きやすさについて改善が図られている</b></p> <p>職務・職種による手当創設などによる職員の処遇向上、勤務体制の細かな設定、非常勤職員の採用等職員が働きやすい環境形成に取り組んでいる。休憩所や更衣室にも十分なスペースが確保されており、職員の労働環境の向上を考慮した造りになっている。IoTシステムの導入による業務効率の向上、時間外労働の削減、希望する日程での公休設定、有給休暇の取得促進等職員の働きやすさについても改善を図っている。</p> <p><b>来年度以降の課題についても認識がなされている</b></p> <p>細かな職務・役割についての職務分担表への明記、研修計画の策定等キャリアパスの設定による処遇改善計画の実行がなされている。年度の園内・園外研修計画が立てられており、研修内容・参加職員等が月別に示されている。更なる各種外部研修への参加、リーダー層の負担軽減、アンガーマネジメントや権利擁護研修の実施など来年度以降の課題についても認識がなされている。</p> <p><b>多くの職員が参加できるよう開催時間を工夫している</b></p> <p>人材の募集については多様な機関・メディアを活用し、本園の保育を実践できる人材の確保にあたっている。新入職員に対しては記録の書き方等を教えながら保育全体の指導に結び付けられるよう配慮に努めており、職員一人ひとりの成長をサポートしている。職員会議についても日中から夕方に開催することで、できるだけ多くの職員が参加できるよう工夫している。</p>		

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

地域の意向、保護者の意向を取り込んだ運営の実践を目標として掲げている。①併設の高齢者施設との行事実施、②保育所体験の実施、③保護者へのアンケート調査実施、④小学校との連携の実施などを中心に行っている。昨年度末に開設より2年が経過し、これら活動の実施が継続して行われたことの検証と園の方針の浸透・達成度の高さを認識している。本年度においてもすべての活動を継続、実施中となっている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

地域の児童福祉への貢献を目的として設置されており、高齢者施設の併設、小学校・中学校・公園が隣接する中で社会資源としての運営が期待される中で設立がなされている。その期待に応える中で保育所未入園者に対する保育所体験など地域の福祉ニーズに呼応した活動がなされている。また本年度よりICTシステムの導入により保護者へのアンケートについても簡易にできるようになっている。保護者からの回答率の高さに導入を一定の成果として捉えることができる。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

本年度より保育ICTシステムを導入し、業務の効率化、情報保管の徹底等がなされている。またシステムの導入により保護者との連絡帳についても電子化がなされており、保護者の都合等への配慮が実現している。日々の連絡や案内の迅速な情報伝達が可能となっており、園・保護者共に情報の共有の向上に対する恩恵の享受を受けている。来年度からは紙媒体と併用しているお便り等の電子媒体への一本化も検討をしている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

数社のシステムから園の記録や方針との親和性を考慮して保育ICT化の導入が図られている。保護者のスマートフォンの普及など環境変化への対応と職員・保護者の効率の向上を意図して行われている。システム導入については本評価の利用者調査からお各種便りの迅速化など概ね好意的な意見が占められている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○非該当
サブカテゴリ1の講評			
<p>質問への回答を網羅できるよう入園のしおりが発行されている</p> <p>入園のしおりについては、保護者が準備する持ち物について写真入りの解説をつけるなどより具体的に理解できる内容となっている。またしおりと一緒に昨年受審した福祉サービス第三者評価の結果についても配布し、園への理解が深まるよう努めている。利用希望者の質問に対してはあらかじめ回答を用意し、疑問に感じていることを網羅できる内容となるよう毎年改訂が加えられており、今年度も内容の検討と変更を予定している。</p> <p>見やすさが意識されたホームページに改訂されている</p> <p>法人のインターネットサイトのリニューアルがなされており、併せて本園のページについても改訂がなされている。情報量の増加と見やすさについて改訂がなされており、申請書類等の掲載については更に拡充を図る意向をもっている。また区のホームページにも一覧および園の概要が掲載されており、多くの方々が園の存在を知ることができるよう配慮されている。</p> <p>見学説明会では理解が深まるよう配慮がなされている</p> <p>見学希望の問い合わせが多数あり、月に2回程度の見学会を開催し、対応を図っている。園の特長をはじめ、水泳教室の内容、職員配置、散歩等戸外活動の内容、延長保育への対応等については丁寧な説明に努めている。説明会ではプレゼンテーションソフトで資料を作成しており、体験保育の実施とあわせて参加者の理解が深まるよう配慮がなされている。</p>			

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>しおり・重要事項説明書を用いてこれからの園生活についての説明をしている  入園時には説明会を開催し、入園のしおり・重要事項説明書を用いて利用時間、職員構成、緊急時対応等留意事項を説明している。現在は個人情報の使用についてのみ同意をもらっているが、来年度以降は重要事項説明書全般に対して同意書を提出してもらうことを検討している。また全保護者に日程の希望を聞いたうえで個人面談を実施しており、家庭との連携を深めるよう取り組んでいる。</p> <p>開設から園を牽引してきた子どもたちを温かく送り出せるよう準備等が進められている  開設から3年が経過する中で今年度初めて卒園児の輩出を控えている。小学校への接続に対しては生活習慣の変更等を行っており、更に小学校との連携を深め、就学に対しても他の取り組み同様丁寧かつ継続性のある支援を実践している。開設から園を牽引してきた子どもたちを園全体で温かく送り出せるよう準備等が進められている。</p> <p>個人面談の実施に対しては申請用紙の設置等整備がなされている  入園時には子どもたちに安全・安心に過ごしてもらえ、保護者に寄り添う支援を念頭に安定した園運営が心掛けられている。特に入園当初の慣らし保育については、予定をたて保護者の就業等一人ひとりの状況を考慮し、柔軟な対応を心がけている。また入園後もいつでも相談に応じられるよう個人面談の実施に対しては申請用紙の設置等整備がなされている。</p>			



サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況 12/12

評価項目1  
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2  
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたくうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3  
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4  
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評	
<p>考えのベースとなる計画に状況等の変化を加えながら改訂にあたっている</p> <p>全体的な計画は、年齢ごとの保育理念のほか情報保護・苦情解決・人権尊重等の方針が定められている。方針は考えのベースになるようどっしりとしたものとなっており、既存のものに状況等の変化を加えながら改訂にあたっている。また年間指導計画をもとに月案、週案が策定されており、全てにおいて繋がりを意識するよう職員への指導にあたっている。計画においても子どもとの関わりが表出できるようものとなるよう更なる充実を目指している。</p> <p>家庭からの情報を共有し、保育に役立っている</p> <p>入園時には家庭状況調査票をはじめ、子どもたちの健康・生活状態について書類を提出してもらい、その後の園生活の環境を整えるために役立てられている。特に食物アレルギー等配慮の必要な子どもについては安全に生活できるよう対応を図っている。また保育日誌等を通じて子どもたちの情報を共有し、園全体で見守れるよう努めている。</p> <p>記録の電子化によりタイムラグのない情報共有が実現している</p> <p>今年度より保育ICTシステムを導入し、記録の電子化がなされている。これまでの既存の資料についてもデータ化し端末より閲覧できるよう整備されている。業務効率の最適化を目標として導入されていることから紙媒体についても使い勝手の良さを考慮し、併用するなど柔軟な対応がなされている。</p>	
サブカテゴリー5	
5	<p>プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重</p> <p style="text-align: right;">サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5</p>
<p>評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている
<p>評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている
サブカテゴリー5の講評	
<p>子どもたち一人ひとりの尊重した保育となるよう指導・周知を図っている</p> <p>年2回の権利擁護に関するチェックの実施・職員自己評価等により子どもたち一人ひとりの尊重について指導・周知を図っている。職員会議等機会を設けて都度子どもの意思の尊重について話し合いにあたっている。また職員は身近に接する大人として子どもたちの見本となることを求められており、適切な対応がとれよう職員の指導にあたっている。</p> <p>入園時には個人情報の利用に対して同意を得ている</p> <p>法人ホームページには個人情報保護方針が謳われており、その中で、「個人情報の利用について・個人情報の第三者への提供について」記載がなされている。個人情報保護法第23条に定める以外同意を得ることなく第三者に提供しないことを約しており、適切な取り扱いに取り組んでいる。また入園時には個人情報の利用目的を定めた書面を配布・説明し、同意を得ている。</p> <p>子どもたちが安心して遊び・過ごすことができる環境が整えられている</p> <p>道路からは、園庭や保育室が見えない造りとなっており、子どもたちが安心して遊び・過ごすことができる環境が整えられている。またオートロック・防犯カメラの設置などプライバシーとセキュリティが保全されている。おむつ替え・着替え・プール活動等も遮光ネットやホワイトボードを活用し子どもの羞恥心に配慮するよう努めている。</p>	

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>子どもたちが安心して過ごせるよう業務の標準化にあたっている</p> <p>看護、食育、英語活動、絵本の読み聞かせ、玩具点検、園庭管理などのマニュアルが整備されており、子どもたちが安心して過ごせるよう業務の標準化にあたっている。また勤務時間帯別の業務マニュアルも設定しており、効率的かつ責任ある業務となるよう取り組んでいる。BCPの策定が新たになされており、更にマニュアルの整備を進め、職員による差異をなくすための取り組みを継続する意向をもっている。</p> <p>職員の理解と周知にこれまでの成果を認識している</p> <p>話し合いで決められたことについては、理解をし留意して業務を進められていることに対してこれまでの取り組みの効果と成果を認識している。申し送り・職員会議・リーダー会議により情報の周知を図り、経験が浅い職員に対してはリーダー・主任・副主任等管理職が指導をする体制が整備されている。重要事項の周知もれ・理解もれがなくなるようICTの活用が図られている。</p> <p>新入職員に対しては風通しの良い職場環境を活かした育成に取り組んでいる</p> <p>新入職員に対しては外部研修受講、基礎的なことの習得を図り、風通しの良い職場環境を活かして育成にあたっている。また年齢別のクラスに対する人員配置については、新入職員を含め職員の経験を配慮しており、職員の成長に繋がるよう・バランスの良い職員体制となるよう努めている。充実した園内・園外の研修計画が立てられており、専門職としての自覚を更に伸ばしていけるよう取り組んでいる。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当		
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当		
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当		
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当		
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当		
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当		
評価項目1の講評				
<p>単なる合同保育ではなく、グループとしての成長を主眼として縦割り保育を実施している                      保育室はクラスごとに壁で仕切られている部分と空間を共有している部分とが共存した工夫した造りとなっており、クラスに閉じこもらない保育を実践している。毎週金曜日は縦割り保育を実施しており、異年齢に対する優しさやいたわりを培い、生活する中で人間関係を構築できる保育を目指している。単なる合同保育ではなく、グループとしての成長を主眼として行っており、今後は細かな計画と検証を導入していく意向をもっている。</p> <p>子どもたちだけで会議をし、集団の中で表現すること等を育む環境を提供している                      子どもたち自身が考え、友だちや遊びに関心を持つことを尊ぶ保育を実践しており、年長児童に対しては注力した取り組みがなされている。子どもたちだけで会議をし、集団の中で表現することや周囲を思う気持ちを育む環境を提供している。本年度卒園を迎えるにあたり、自分たちで様々なことができるよう支援をしてきている。</p> <p>関係機関との連携により配慮の必要な子どもへのサポートにあたっている                      配慮の必要な子どもに対しては子ども家庭支援センターや行政等関係機関と連携し、支援に努めている。巡回指導時など報告・連絡を通して情報の共有に努めており、密なる連携をもって子どもにとって最善の支援提供ができるよう協力している。また外国籍の保護者等に対しても丁寧に説明し、保育園生活で困ることがないようにサポートにあたっている。</p>				

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>保護者とのコミュニケーションを通じて連携した保育を実践している</p> <p>登園時には顔色、健康状態を視診し、保護者とのコミュニケーションをもって子どもの状態の把握に努めている。また降園時以降の喫食・健康状況についても連絡帳等にて確認し、把握したうえで保育の臨むよう取り組んでいる。本年度より導入したICTシステムを活用し、より綿密な連携を可能としている。保健計画の配布、園内の衛生・保健情報の掲示を通して家庭と連携しながら子どもの健康維持にあたっている。</p> <p>無理強いすることなく生活習慣の習得にあたっている</p> <p>トイレトレーニングについては園が主導するかたちで家庭の意向を伺い、無理強いすることなく自然に身につけられるよう取り組んでいる。また離乳食についても栄養士が中心となり、家庭での喫食状況を確認しながらメニューの策定がなされている。特に歯磨きについては低年齢児からはじめ、最後は職員による仕上げ磨きがなされている。</p> <p>自立と自律を意識した保育の実践に努めている</p> <p>思い切り遊ぶ・きちんと話を聞くなど場面ごとにメリハリを大事にした保育を実践している。午睡時のパジャマの着用については、着脱を覚えることを主眼として行われており、中履きの使用等についても保護者に対して子どもたちの成長を願う園の思いを説明した上で実施している。就学以降を見据え、自立と自律を意識した保育の実践に努めている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p><b>主体的に取り組めるよう日常より保育にあたっている</b> 当番が前に出て発表をする機会や子どもたち自身で会議をする機会をつくるなど皆の前で自己を表現する機会を持ち、主体的に取り組めるよう日常より保育にあたっている。またきちんと話を聞く、列をつくる、挨拶をする、整理整頓をするなど決まりやルールを教え、就学後の生活を見据えながら取り組んでいる。</p> <p><b>子どもの創造性を育むプログラムと環境を有している</b> 英語活動など外部講師を招いての教育がなされており、積極的に表現教育に取り組んでいる。ピアノにあわせての合唱、体操・ダンスなど体を使って楽しむことも取り入れ、総合的な指導となるよう環境設定がなされている。また制作活動を集中して行える工作室も設置するなど子どもの創造性を育むプログラムと環境を有している。</p> <p><b>元気に遊び込める環境を有している</b> 園庭は遊具等に工夫が凝らされており、夕方でも子どもたちが元気に遊ぶことができるスペースを有している。近隣には大小複数の公園や神社がある恵まれた環境にあり、散歩等皆で出かけ、楽しい活動がなされている。散歩ルートについては安全を確認したマップを作成しており、他の活動同様、安全を第一とした取り組みがなされている。また夏季のプール活動をはじめ、園庭からダイレクトに入ることができるシャワールームが整えられている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p><b>年齢毎に2回に分けて開催するなど工夫を加えながら生活発表会が実施されている</b> 年間行事計画および行事計画書が立案されており、スケジュール、工程など綿密な計画をたて、目的を明確にし目標をもって取り組むことが心がけられている。生活発表会は、日々の保育内容や成長の成果を保護者に理解してもらえる内容となっており、年齢毎に2回に分けて開催するなど工夫を加えながら改善にあたっている。行事後にはICTシステムを活用したアンケートを実施しており、保護者の反響や意見に耳を傾けながら次年度につなげるよう取り組んでいる。</p> <p><b>触れ合いが当たり前のことになっていることに複合施設としての功績を理解できる</b> 高齢者施設との複合施設として設置されており、すぐに交流ができる・身近に高齢者の生活を感じられる環境となっている。高齢者施設の運営にも携わるスペシャリストが園の管理に参画していることから保護者の心配を払拭し、無理のない交流・適切な対応がなされている。日常的な触れ合いから双方とも特別なことではなく、触れ合いが当たり前のこととして捉えられていることに設置の功績を理解できる。</p> <p><b>日々の活動と成長が行事を通して形として結実できるよう取り組んでいる</b> 近隣に大型の体育館や中学校を有する恵まれた環境を活かし、運動会・生活発表会等の行事の際に協力を依頼している。毎月の誕生会、クリスマス会、敬老会、お月見会など季節の行事を多様に取り入れ、伝統の承継にも寄与出来るよう取り組んでいる。日々の活動と成長が行事を通して形として結実できるよう取り組んでいる。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>総合的に衛生と安全が確保されるよう取り組んでいる</p> <p>一定の時間以降は、合同保育を実施しており、異年齢による遊びにおいても安全が確保されるよう職員間で連携を図りながら見守りがなされている。また家庭での睡眠や喫食状態を確認し、総合的に衛生と安全が確保されるよう取り組んでいる。担当であるないに関わらず、全職員がすべての子どもと保護者を把握し、子どもたちの体を休めながら保育にあたっている。</p> <p>保育が長時間にわたる場合は静かな活動を取り入れている</p> <p>0歳、1歳の部屋は畳が敷かれており、ゆったりと過ごすことができる十分なスペースが確保された環境となっている。また医務室の設置、看護師の配置により体調を崩した子どもに対しても適切な対応がとれるよう体制が構築されている。保育が長時間にわたる場合は子どもの注意力が散漫になることが見受けられるため、絵本や紙芝居の読み聞かせなど静かな活動を取り入れている。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>安全・安心な食事を提供するためのオペレーションが確立している</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもに対しては、給食会議での確認、保護者への通達、日々の確認がなされており、安全に対するオペレーションが確立している。また提供の際には、トレーの色やテーブルを状況に応じて変えるなど万全を期すよう取り組んでいる。また給食の保管時間についても徹底し、食中毒防止にあたっている。</p> <p>栄養士・調理員が子どもたちと一緒に食事をしながら配膳や喫食状況を確認している</p> <p>定期において給食会議を開催し、子どもたちの嗜好、喫食状況、野菜の切り方や固さなどの提供状態の意見交換をし、より良い給食提供への参考としている。栄養士・調理員が子どもたちと一緒に食事をしながら配膳や喫食状況を確認しており、連携をとりながら安全で健康的な食事が実施されるよう取り組んでいる。またバイキング形式の食事は、子どもたちが楽しく食事することと共に、自身における食事量の調節や責任感を養うことも目的として行われている。</p> <p>野菜の栽培等を通して食への興味を促している</p> <p>子どもたちが食を身近に感じられるよう、野菜の栽培、食材に触れるクッキング保育など多様な食育活動が取り入れられている。また子どもたちも給食作りに参加するなど積極的な食育活動がなされている。旬の素材の活用、食を通して人と関わることの楽しさ、食習慣を通して決まりを覚えることなどを大切に活動が多様になされている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>多数の看護師の配置により子どもたちの健康管理がなされている</p> <p>常勤の正看護師2名と病後児保育担当の常勤准看護師1名が配置されており、子どもたちの健康管理にあたっている。手洗いうがいの励行、消毒、保護者への注意喚起等により感染症蔓延予防に対策を講じている。病後児保育は設けられており、担当者の配置、専用の入り口、隔離室が設置されるなど安全対策についても万全を期しており、園および地域の保護者に寄与する活動がなされている。</p> <p>報告書の確認を通して要因分析、周知、情報共有をし、再発・事故防止に取り組んでいる</p> <p>ヒヤリハット報告書については、職員の意識付けに対して継続して指導を行っており、職員自身が事故を未然に防ぐためのセンサーを持てるよう啓発にあたっている。報告書の確認を通して要因分析、周知、情報共有をし、再発・事故防止に取り組んでいる。またSIDS(乳幼児突然死症候群)の予防として、午睡時の定間隔でのチェックと記録、キッズベッドの使用など対策を講じている。</p> <p>保健計画の立案等を通して保健衛生と体力向上に取り組んでいる</p> <p>朝の視診、体温チェック、清掃分担、医務室の設置など子どもたちが健やかに過ごすための環境を整えるよう取り組んでいる。保健計画の立案、保健だよりの保護者への配布を通して保健衛生への関心をもってもらえるよう取り組んでいる。また昨今の子どもの体力低下に鑑み、ベビーカーを使わず歩いて登園することを勧めるなど子どもたちの健脚が進むよう取り組んでいる。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>子どもたちの成長を確認できる場と相談機会を設けている</p> <p>入園時には個人面談を実施しており、各家庭の要望や意見を聴取している。保護者からの要望に基づき入園時ばかりでなく随時希望者は個人面談をできるようにしており、申込用紙等を設置して対応を図っている。また保護者会役員会が定期開催されており、日時の設定や時間については保護者の負担とならないよう配慮に努めている。保育参観・保護者が参加出来る行事を設けており、成長を見てもらう場として・保護者同士および職員との信頼関係構築の機会としても活用に取り組んでいる。</p> <p>保護者への負担を考慮した具体的施策がとられている</p> <p>延長保育の実施、慣らし保育の短縮等保護者の就労を考慮した支援に努めている。紙おむつの園での廃棄は、衛生面だけでなく保護者への負担をなるべく軽減できるよう配慮して実施している。また病後児保育については、在園児の利用も多く、働く保護者へ心強いサポートとなっている。また今年度より導入したICTシステムは保護者の多忙に対しても考慮がなされている。</p> <p>大規模な園となった後も保護者に寄りそう運営の継続を表明している</p> <p>登降園時の声掛け、連絡帳でのやりとりを通して家庭での状況や健康状態の情報を把握している。また保護者が参加する行事等でもコミュニケーションを図り、信頼関係が構築できるよう取り組んでいる。140名と大規模な園となってきたことから「出来ること・出来ないこと」を判別しながら子どもたちと保護者に寄りそう運営を継続していくことを表明している。</p>		



9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>子どもたちの力と保護者の理解により高齢者施設との交流が育まれている  介護保険地域密着型サービス事業所と併設されており、地域交流・世代間交流について重視したコンセプトを持っている。事業計画への盛り込み、具体的施策の実施等そのコンセプトに沿った活動がなされている。日常的な触れ合いがなされており、双方共に特別な催しや行事ではない親睦となっている。高齢者を喜ばせることができる子どもたちの力と保護者の理解により成り立っている。</p> <p>近隣他園との交流が始められており、多様な活動がなされている  区の図書サービスの利用、中学校、公園、体育館の活用など地域の社会資源を使い、地域とともに子どもを育てる環境となるよう取り組んでいる。近隣には神社があり、お祭り時に神輿を見学するなど伝統文化に触れる機会ともなっている。また近隣他園との交流が始められており、本園の遊戯室を活用しての交流会など多様な活動がなされている。</p>		



1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)法人理念「みんなのために」 2)豊かに表現できる子(知育) 3)思いやりのある子(徳育) 4)元気で丈夫な子(体育)</p>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>「みんなのために」という法人理念に基づき、利用者のことを思い、利用者の家族のことを思い、職員の家族を思うことができ、そして地域に貢献するという意識の高い人材。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>専門職としての自覚を持ち、常に向上心を持って、自己努力をし続けること。</p>



調査対象

全園児144名に対する全120世帯の保護者等を単位・対象として実施。

調査方法

事業所より利用者調査票を各世帯に配布。回収ボックスの設置、専用の提出用封書の配布等プライバシーに配慮した。

利用者総数	144
利用者家族総数(世帯)	120
共通評価項目による調査対象者数	120
共通評価項目による調査の有効回答者数	71
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	59.2

利用者調査全体のコメント

・園の総合的感想については、「大変満足」が46.5パーセント、「満足」が42.3パーセント、「どちらともいえない」が8.5パーセント、「不満」が2.8パーセント、「大変不満」が0パーセント、「無回答」が0パーセントとなっている。【感謝・賞賛】保育姿勢、行事への注力、看護師の配置、給食の安全性・味、感謝、保育内容の充実、保護者の負担軽減への配慮、生活習慣習得、細やかな対応、季節感の取り入れ、食育への注力、管理職の人間性、ICTの導入 【不満・要望】人数が多い、体を動かす活動の増加、活動の案内への注力、登園時の対応、延長保育時の体制、外遊びの増加、国語教室の終了、安全体制への不安、職員の姿勢、タブレット使用方法への疑問、保育参観の開催方法、行事への取り組み、ケガ時の対応、アンケートや説明会の開催、方針の変更、のびのびとした保育の実施、職員の退職の多さ、職員配置、自由保育の実施、病気時の預かり基準、接続期への配慮、写真掲示の均等化、行事の負担、面談の実施、連絡帳の継続、管理職と職員との差 【本調査への意見】振り返りの機会となる、改善に繋がることを期待する、インターネットでの実施、毎年やっている園への信頼

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答・非該当
コメント				
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	69	1	1	0
「はい：役立っている」が97.2パーセント、「どちらともいえない」が1.4パーセント、「いいえ」が1.4パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。戸外活動の増加、国語教室継続等の要望の声があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	61	8	1	1
「はい：なっている」が85.9パーセント、「どちらともいえない」が11.3パーセント、「いいえ」が1.4パーセント、「無回答・非該当」が1.4パーセントの回答となっている。学習機会への賛同の声があった。人数の多さ、室内活動の多さ、興味を持てる教材の使用等不満・要望の意見があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	67	3	1	0
「はい：配慮されている」が94.4パーセント、「どちらともいえない」が4.2パーセント、「いいえ」が1.4パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。献立・便りの工夫、行事食への注力、安心できるおやつ、食材を多様に使用、好き嫌いの改善、健康的なメニュー、おいしい等の賞賛・賛辞の声があった。離乳食変更時の連絡、同じような形態のメニューの連続、おやつのおかず系への変更等要望・不満の声があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	45	16	9	1
「はい:関わっている」が63.4パーセント、「どちらともいえない」が22.5パーセント、「いいえ」が12.7パーセント、「無回答・非該当」が1.4パーセントの回答となっている。活動の幅を広げる、外遊びの増加等要望の声があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	48	4	2	17
「はい:対応されている」が67.6パーセント、「どちらともいえない」が5.6パーセント、「いいえ」が2.8パーセント、「無回答・非該当」が23.9パーセントの回答となっている。対応の良さに対する賞賛の声があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	58	9	1	3
「はい:対応されている」が81.7パーセント、「どちらともいえない」が12.7パーセント、「いいえ」が1.4パーセント、「無回答・非該当」が4.2パーセントの回答となっている。感染症対策の徹底、不審者対応への迅速さに対する賞賛の声があった。降園時の安全性、午睡時の顔の向き、ケガへの不安、棚の上に物があること等への不満の声があった。また安全対策の具体的方法を知りたい旨の意見があった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	65	4	2	0
「はい:十分である」が91.5パーセント、「どちらともいえない」が5.6パーセント、「いいえ」が2.8パーセント、「無回答・非該当」が0パーセントの回答となっている。事前周知の早さ、日程設定の良さ、平日の見学対応等賞賛の声があった。一方、参観日の日程設定等不満の声があった。職員への負担を考慮すべきとの意見もあった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	49	14	7	1
「はい:信頼関係がある」が69.0パーセント、「どちらともいえない」が19.7パーセント、「いいえ」が9.9パーセント、「無回答・非該当」が1.4パーセントの回答となっている。日々の報告、トラブルへの対応、対応への感謝等の賛辞の声があった。また連絡のしづらさ、担任とのコミュニケーション機会、職員による違い等の不満の声があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	68	2	0	1
「はい:行き届いている」が95.8パーセント、「どちらともいえない」が2.8パーセント、「いいえ」が0パーセント、「無回答・非該当」が1.4パーセントの回答となっている。安全への迅速な対応についての賞賛の声があった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	64	4	2	1
「はい:適切である」が90.1パーセント、「どちらともいえない」が5.6パーセント、「いいえ」が2.8パーセント、「無回答・非該当」が1.4パーセントの回答となっている。職員の優しさに対して賞賛の声があった。職員の接遇、言葉使いに対して不満・要望の声があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	58	6	4	3
「はい:信頼できる」が81.7パーセント、「どちらともいえない」が8.5パーセント、「いいえ」が5.6パーセント、「無回答・非該当」が4.2パーセントの回答となっている。体調変化時の連絡について感謝の声があった。またケガ時の対応、連絡方法、体調変化への気づき等について不満の声があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	42	9	3	17
「はい:信頼できる」が59.2パーセント、「どちらともいえない」が12.7パーセント、「いいえ」が4.2パーセント、「無回答・非該当」が23.9パーセントの回答となっている。トラブル時の対応について賛同の声、仲裁に入ることへの不満、保護者への連絡の統一の要望等様々な声があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	55	13	1	2
「はい:対応されている」が77.5パーセント、「どちらともいえない」が18.3パーセント、「いいえ」が1.4パーセント、「無回答・非該当」が2.8パーセントの回答となっている。子どものペースにあわせた生活習慣の習得が行われている旨の意見があった。職員による差異、職員の保育姿勢、職員の言葉使いへの不満の声があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	50	8	2	11
「はい:守られている」が70.4パーセント、「どちらともいえない」が11.3パーセント、「いいえ」が2.8パーセント、「無回答・非該当」が15.5パーセントの回答となっている。わからない等の意見がある一方プライバシー保護への不満の声もあった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	58	8	4	1
「はい:わかりやすい」が81.7パーセント、「どちらともいえない」が11.3パーセント、「いいえ」が5.6パーセント、「無回答・非該当」が1.4パーセントの回答となっている。アプリでの活動報告の良さについて賞賛の声があった。目標の説明のなさ、具体的活動の説明のなさ、学年切り替わり時の説明のなさ等不満の声があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	45	11	4	11
「はい:対応されている」が63.4パーセント、「どちらともいえない」が15.5パーセント、「いいえ」が5.6パーセント、「無回答・非該当」が15.5パーセントの回答となっている。伝えたことに反映がある旨の意見があった。反映されない、職員により差異がある、回答がない、話をしない旨の不満の声があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	15	23	6	27
「はい:伝えられている」が21.1パーセント、「どちらともいえない」が32.4パーセント、「いいえ」が8.5パーセント、「無回答・非該当」が38.0パーセントの回答となっている。説明はあるが覚えていない、説明がなかった旨の意見があった。				

